

## 特集：エイズの現状と動向

## 保健所等における HIV 検査相談に関する全国調査 (2008 年) の結果から

Studies on Voluntary HIV Testing and Counseling Services  
at Public Health Centers今井 光 信<sup>1)</sup>, 佐野 貴 子<sup>2)</sup>, 中瀬 克 己<sup>3)</sup>*Mitsunobu IMAI<sup>1)</sup>, Takako SHIMA-SANO<sup>2)</sup> and Katsumi NAKASE<sup>3)</sup>*<sup>1)</sup> 田園調布学園大学人間福祉学部, <sup>2)</sup> 神奈川県衛生研究所微生物部, <sup>3)</sup> 岡山市保健所<sup>1)</sup> Den-en Chofu University, <sup>2)</sup> Kanagawa Prefectural Institute of Public Health  
and <sup>3)</sup> Health Centre of Okayama City Hall

## はじめに

HIV/AIDS の現状と動向を考える上で、自治体が保健所等で公費によって行う HIV 検査相談事業 (原則無料匿名) の果たしている役割は極めて大きい。HIV 感染の現状把握のためには、HIV 検査による感染の確認が必須であり、また、HIV 検査相談を通じての効果的な感染予防対策は、HIV 感染の動向に大きな影響を及ぼしうる。2008 年に保健所等での公費による HIV 検査相談事業によって確認された陽性件数は 501 と HIV 感染者報告の 44% に相当し、他の疾患と大きく異なり保健所等の公的機関の果たす役割が大きい。HIV 感染の現状をより正確に把握するためにも、また、その動向を感染拡大の防止に向かわせるためにも、保健所等で行われている公費による HIV 検査相談事業の役割は極めて重要である。

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究」班では、保健所等における HIV 検査相談の実情を把握し、その充実を計る目的で、全国の保健所・その支所および自治体による HIV 検査相談施設を対象にアンケート調査を行っている。本稿では 2009 年 1 月に実施した全国アンケート調査<sup>1)</sup> の結果に基づき、日本における HIV 検査相談の現状と HIV/AIDS の現状と動向との関連について考察する。

1. 保健所等における HIV 検査相談に関する  
全国調査 (2008 年) の概要

全国保健所へのアンケート調査は、全国の保健所およびその支所等 593 施設にアンケート用紙を郵送し、534 施設 (90%) から郵送により回答を得た (表 1)。回答のあった

534 施設中 533 施設 (99.8%) が HIV 検査相談を実施しており、これらの保健所での 2008 年の一年間に実施された HIV 検査の総数は 128,249 件、陽性数は 280 件 (0.22%) であった。陽性と分かった 280 件中 259 件 (93%) については受検者に陽性結果を知らせることができ、208 件 (74%) についてはその後の医療機関への受診が確認されていた。陰性の結果であった 127,969 件についてはその 125,107 件 (98%) で陰性結果を受検者に伝えられていた。

また、東京都南新宿検査相談室 (以下、南新宿と略) 等の自治体の設置する HIV 検査相談施設 17 施設へのアンケート調査では、17 施設すべての施設から回答が得られた。これら施設では 2008 年に合計で 25,887 件の検査が実施され、164 件 (0.6%) が陽性であった。陽性と分かった 164 件中 156 件 (95%) において陽性結果が受検者に伝えられており、123 件 (75%) においてはその後の医療機関への受診が確認されていた。陰性であった 25,723 件については、その 25,246 件 (98%) で陰性結果が受検者に伝えられていた。

一方、エイズ動向委員会への報告<sup>2)</sup> では、2008 年における保健所等無料・匿名 HIV 検査の総数は 17 万件で陽性数は 501 件 (0.29%) であった。アンケート調査の結果では、保健所および特設検査施設の合計は HIV 検査数が 154,136 件、陽性数は 444 件 (0.29%) であり、検査数、陽性数ともにエイズ動向委員会への報告数の 90% に相当した。この結果は、アンケートの回収率が 90% であったことと対応する結果と思われる。

## 2. 保健所における HIV 検査相談の実施方法 (通常検査・即日検査) と実施時間等 (平日・夜間・土日) について

15 分で検査結果が分かる迅速検査キットを使用して、検査相談のその日に結果返しを行う HIV 即日検査は、2003

著者連絡先：今井光信 (〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1 田園調布学園大学人間福祉学部)

2010 年 2 月 1 日受付

表 1 保健所等における HIV 検査体制に関する全国調査の結果 (2008 年)

	保健所	特設検査機関
回答数	534/593 箇所 (90%)	17/17 箇所 (100%)
2008 年に HIV 検査を実施した検査施設	533/534 箇所 (99.8%)	17/17 箇所 (100%)
2008 年に陽性結果のあった保健所	122/533 箇所 (23%)	17/17 箇所 (100%)
陽性件数	陽性件数 280/128,249 (陽性率 0.22%)	164/25,887 (陽性率 0.6%)
陽性結果を伝えられた件数	259/280 (93%)	156/164 (95%)
受診したことを把握できた件数	208/280 (74%)	123/164 (75%)
陰性結果を伝えられた件数	125,107/127,969 (98%)	25,246/25,723 (98%)

年に栃木県南健康福祉センターで初めて保健所の HIV 検査相談の場に導入された<sup>3)</sup>。その後、即日検査のガイドライン<sup>4)</sup>や事例集<sup>5)</sup>の作成及び講習会の実施等により、多くの保健所に普及した。2008 年には即日検査のみを実施している保健所が 533 件中 182 件 (34%)、即日検査と通常検査の両方を実施している保健所が 131 件 (25%)、通常検査のみを実施している保健所は 219 件 (41%) と半数以上の保健所が即日検査を実施していた (図 1)。

また、HIV 検査の実施時間帯に関しては、土日の休日検査を実施している保健所が 74 件 (14%)、平日夜間の実施が 157 件 (29%) とおよそ半数近い保健所が休日か夜間と比較的利便性の高い時間帯に HIV 検査相談を行っていることが分かった (図 2)。さらに、検査法と時間帯の組み合わせでその実施状況を解析すると、通常検査のみを平日の昼の時間帯に行っている保健所は 164 件 (30%) で、他の 369 件 (69%) では、即日検査や休日・夜間検査等の利便性の高い検査を実施していることが分かった。

### 3. 保健所 HIV 検査相談の年間検査数と陽性数の分布について

保健所の年間 HIV 検査数による分布は、年間の検査数が 100 件以上 500 未満の保健所が 251 で全体の 47% とほぼ半数を占めており、年間検査数 100 件未満の保健所も 206 施設で全体の 39% と多かった。年間検査数が 500 件以上の保健所は 69 施設と全体の 13% であったが、それら検査数の多い保健所での検査数が合計 56,165 件と全検査数の 49% を占めていた。また、これら検査数の多い保健所では陽性率も高い傾向にあり、陽性数は 181 件と全保健所の陽性数の 65% を占めていた。したがって、全体の 13% である 69 の保健所で、全検査数の 49% の検査が行われ、全陽性数の 65% が見いだされていることが分かった (図 3)。

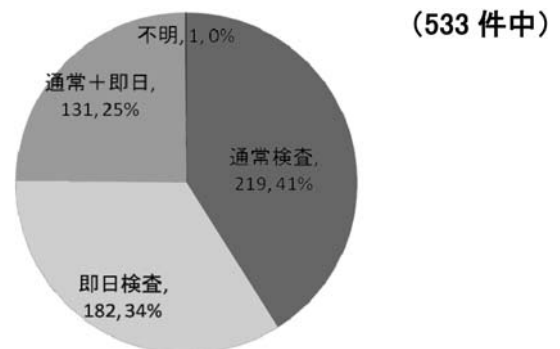


図 1 保健所 HIV 検査における即日検査と通常検査

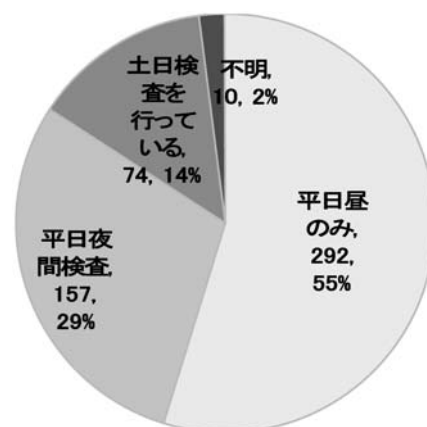


図 2 保健所 HIV 検査における平日、夜間、土曜・日曜検査

年間検査数と陽性率との関連を調べると、50 件未満の保健所では 0.07% と低く、100 件以上、200 件以上、500 件以上と多くなるにつれ、0.14%、0.17%、0.23% と高くなり、1,000 件以上では 0.36% と最も高かった (図 4)。

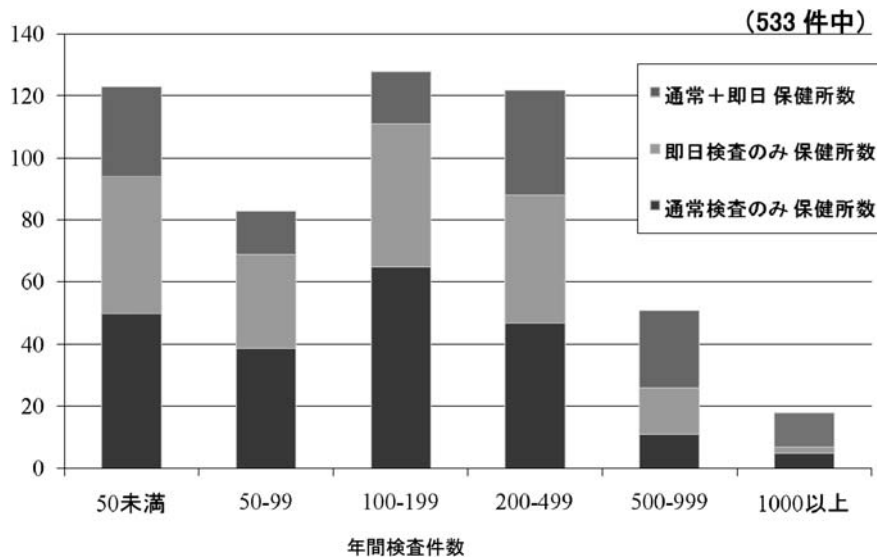


図3 年間検査件数別の保健所数

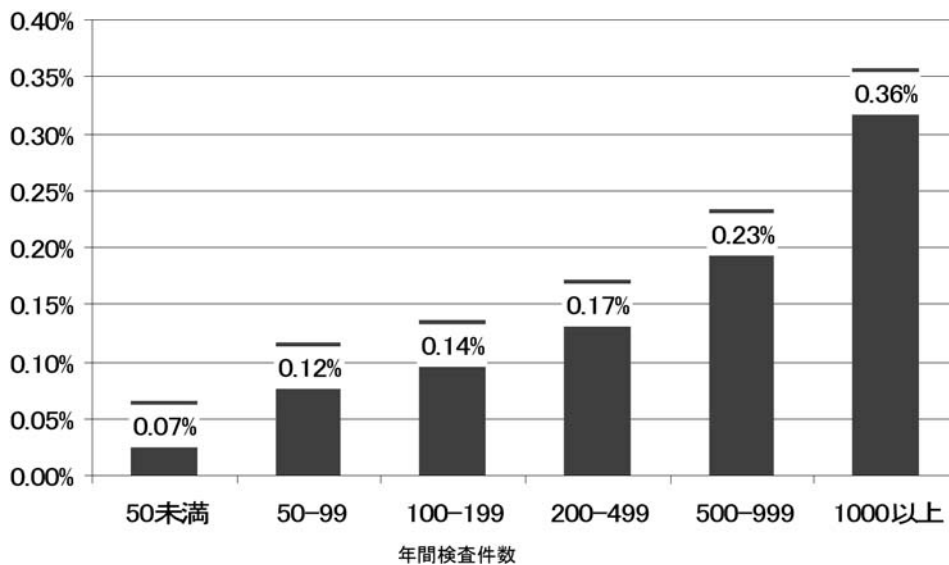


図4 年間検査件数別の陽性率

これらの結果は、検査数の多い保健所は都市部にあり、また、受検者の多い保健所には感染リスクのより高い人が受検する傾向にあることを示していると思われる。

#### 4. 南新宿等特設 HIV 検査相談施設における検査数と陽性数

南新宿等 17 の特設検査施設へのアンケート調査の結果、これら施設での 2008 年の合計 HIV 検査数は 25,887 件（平均 1,522 件）で、陽性数は 164 件、陽性率は 0.6% と、保健所での陽性率の平均である 0.22% の約 3 倍であった。陽性

率が 0.36% と最も高い保健所群（年間検査数が 1,000 件以上の保健所）と比べても約 2 倍と高く、保健所で見られたように検査件数の多い施設は陽性率が高い。検査数の最も多い南新宿検査相談所では、6,483 件中 63 件が陽性、陽性率は 0.9% であり、また MSM、非 MSM、女性と各グループ別に分類した陽性率では、それぞれ 5.7%、0.07%、0.05% とグループ間に大きな違いが観察されている<sup>6)</sup>。

#### 5. 献血血液の HIV 検査の概要

2008 年の献血者における HIV 陽性者数は 107 例と過去

最多であり、引き続き増加傾向が続いている。陽性の107例中104例が男性で、年代別では20歳代、30歳代、40歳代がそれぞれ41例、49例、10例とその大半を占めている。また、陽性献血者中で初回献血者は34例（32%）であり、複数回献血者からの陽性例も68%と多い。また、北海道、宮城、東京、愛知、大阪、岡山、福岡の7ブロックに分けた地域別では、東京40例、大阪33例、愛知11例、福岡10例、岡山8例、北海道3例、宮城2例と東京と大阪が非常に多く、献血者10万人あたりの陽性献血者数においても、東京3.65、大阪6.70と全国平均の2.1と比較して突出していることが分かっている<sup>7)</sup>。

## 6. ま と め

保健所のHIV検査相談は、即日検査、休日・夜間検査の導入による利便性の向上やホームページ「HIV検査・相談マップ」をはじめ、各種イベントや広報の強化等の取り組みにより、受検者数が2002年以降増加傾向にあり、2008年は2002年に比べ、検査数は2.9倍、陽性者数は2.2倍に増加した（図5）。

2008年におけるHIV感染者報告数は1,126件、エイズ患者報告数は431件と、合計1,557件の新規感染者と患者が報告されている。保健所等無料匿名検査で陽性と判明した数は501件であり、報告されたHIV感染者の44%に相当する（図6）。また、研究班で作成しているホームページ「HIV検査・相談マップ」に掲載している民間クリニックで実施されている即日検査（有料）で判明したHIV検査陽性者数も110件把握されている。この他、血液自己採取キットをインターネット等で購入し、採取した血液を指定

の検査機関に郵送し、検査結果を郵送かインターネットを介して得る「郵送検査」においては、郵送検査会社を対象に行った研究班のアンケート調査において、2008年のスクリーニング検査の陽性数が234件に上ることが分かった<sup>7)</sup>。郵送検査ではスクリーニング検査のみの結果が報告されている場合が多く、スクリーニング検査が陽性であった場合、保健所や医療機関等での確認検査が必要となるが、これらスクリーニング検査陽性者のその後の受検行動等については把握が困難となっている。

2008年に自ら積極的にHIV検査を受けて陽性と判明した新規陽性者数は、保健所等でのHIV検査陽性数501件、民間クリニックでの陽性数110件（確認検査による）の合計611件であり、新規HIV感染者として報告された1,126件中の54%にあたる。今後、更なるHIV検査相談体制の整備や民間クリニック等での検査を充実させることで、これら自発的検査による比率をさらに高める努力が必要である。また、献血者での陽性例を減少させることやエイズ発症後にHIV感染が判明する事例をいかに減少させるかが、HIV感染者をより早い医療に繋げるためにも、また、HIV感染の現状をより正確に把握し、HIV感染の拡大を防止するためにも重要な課題と考える。

## 謝辞

保健所等におけるHIV検査相談体制に関する全国調査の実施にあたり、忙しい業務の中、アンケート調査にご協力頂きました全国の保健所等関係者の皆様に深く感謝致します。

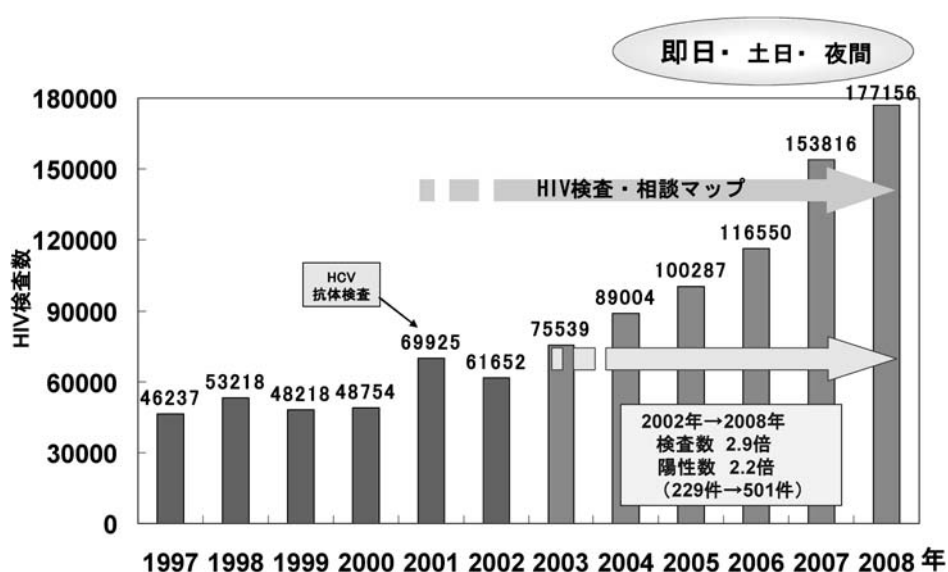


図5 保健所等無料HIV検査の検査数（1997-2008年）

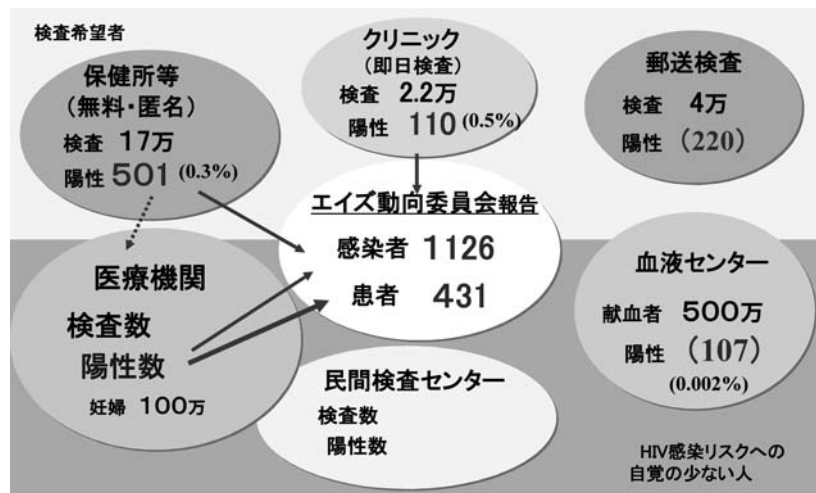


図 6 感染者・患者報告数 と 検査陽性数・検査数 (2008)

文 献

- 1) 今井光信, 佐野貴子, 大野理恵, 須藤弘二, 近藤真規子, 中瀬克己, 角野文彦: HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査 (H20) HIV 検査相談体制の拡大と質的充実に関する研究 平成 20 年度研究報告書. pp51-71, 2009.
- 2) 厚生労働省エイズ動向委員会: 平成 20 年エイズ発生動向年報.
- 3) 嶋貴子, 一色ミユキ, 近藤真規子, 塚田三夫, 潮見重毅, 今井光信: 保健所における HIV 即日検査導入の試みとその効果. 日本公衆衛生学会誌 53 (3): 167-177, 2006.
- 4) HIV 検査相談体制の拡大と質的充実に関する研究班: 保健所等における HIV 即日検査のガイドライン (平成 17 年).
- 5) HIV 検査相談体制の拡大と質的充実に関する研究班: HIV 検査相談の説明相談の事例集 (平成 18 年).
- 6) 小島弘敬, 大野理恵, 佐野貴子, 近藤真規子, 須藤弘二, 今井光信: 特設検査相談施設 (南新宿検査・相談室) の受験者における HIV と STD に関する研究 HIV 検査相談体制の拡大と質的充実に関する研究 平成 20 年度研究報告書. pp 72-80, 2009.
- 7) 日野学, 百瀬俊也: 献血者への働きかけによる HIV 検査機会の拡大 HIV 検査相談体制の拡大と質的充実に関する研究 平成 20 年度研究報告書. pp 110-115, 2009.
- 8) 須藤弘二, 佐野貴子, 近藤真規子, 加藤真吾, 今井光信: HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 HIV 検査相談体制の拡大と質的充実に関する研究 平成 20 年度研究報告書. pp 101-109, 2009.